

認定心理士の会から

3年目の目標は地域活動の活性化

去る2017年9月22日、久留米で開催された日本心理学会第81回大会において、公開シンポジウム「社会で活かしている心理学—認定心理士の会／認定心理士の活動をアカデミアへ還流する—」を開催しました。認定心理士の会のこれまでの活動や、認定心理士の方々の日頃の活動例について紹介し、会の今後の方向性について議論しました。終了後、数名の認定心理士の方々から「何かお手伝いできることがありますか?」「支部会の活動に参加したい」といった、嬉しい声を聞くことができました。

10月から12月にかけて、各支部会のキックオフイベントが開催されました。ご参加いただいた方々の感想やご意見を参考に、2018年もさまざまなイベントを計画していきます。

2018年4月で、認定心理士の会は3年目に突入します。1年目は東京、大阪、宮城でイベント

を開催しました。2年目は地域支部会を設立して、全国各地で会の活動を推進するためのしくみを整えました。そして3年目、各地域支部会の活動を軌道に乗せることが、大きな課題だと考えています。読書会、講演会、ワークショップなど、各地域のニーズに合わせたイベントを開催し、地域の認定心理士の皆さんが顔を合わせる機会を増やしたいです。会員の皆さんには、繰り返しのお願いになりますが、各地域支部会の活動に積極的にご参加ください。

認定心理士の会の概要、これまで配信されたニューズレターは、ホームページ (<https://www.psych.or.jp/authorization/ninteinokai.html>) にて配信しています。またFacebookページ (<https://www.facebook.com/NinteiShinrishiNoKai/>) では、情報配信だけでなく、イベントの様子をリアルタイムで配信しています。活動へのご意見やご要望など、お気軽に書き込んでください。

(認定心理士の会幹事 渡邊伸行)

若手の会から

大会における若手の会の活動報告

福岡県久留米市で開催された第81回大会は、大会における若手の会企画が始まってから、4回目の大会になります。今回は学部生の参加費が無料だったこともあってでしょうか、今までで一番盛り上がった企画だったように思います。

1日目。18名の若手がワンショット発表を行い、大会における自身の演題を1分間で魅力的に宣伝しました。笑いが起こる発表あり、戦略がしっかりと練られている発表あり、とさまざまな理由で記憶に残る発表が多くありました。また、プレゼンバトルでは、6名の学部生が自身の興味のあるトピックや研究計画を5分間でプレゼンし、そのスキルを競い合いました。プレゼンの完成度の高さや学部生の皆さんの堂々とした発表ぶりに大変感動しました。

2日目、大学院の選び方をテーマに行ったシンポジウムでは、院生2名とポスドク1名をシンポジストとして迎え、指定討論者2名と共に、

大学院進学の際に考えるポイントをお話いただきました。さらに、その後の1時間半を使い、フロアを学部生と院生、応用と基礎を軸に4グループに分け、各グループに付いた若手の先輩をファシリテーターとして進路相談会を行いました。海外から参加してくれた若手もいて、普段は日本の外に目が向くことが少ない人たちにとっても貴重な機会となりました。

今回の大会では若手のための旅費支援を初めて行いました。大会参加への熱意や金銭支援の必要性、今後の展望や心理学界への貢献可能性により審査した結果、4名の方が決定されました。大変多くの若手の皆さんから想い溢れる応募を頂き、今後の心理学を担っていく次世代の層の厚さに感銘を受けたと同時に、そういった若手たちが最先端の動向に触れ、交流できる機会を作ることの大切さも感じました。

若手のための若手の会であり続けられるよう、これからも皆さんと共に歩んでいきます!

(若手の会代表幹事 鈴木華子)